

九州大学経営協議会議事録

日時：平成26年6月19日（木）13：00～15：00

場所：九州大学 箱崎キャンパス 本部第一会議室

出席者：27名中24名出席

【審議事項等】

1 経営協議会から推薦した総長候補者について

5月19日の経営協議会において選考した4名の候補者について、期限までに辞退がなかったため、当該4名を5月29日付けで経営協議会から総長選考会議へ推薦した旨の報告があった。

2 主幹教授の選定について

主幹教授制度の概要及び新たに1名の主幹教授を決定したことについて報告があった。

3 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見等があった。

- ・ 15ページからのミッションの関係で、18ページに記載されている「保健分野」について、医学として一緒にした方がいいのか、敢えて分けた方が得なのか分からない。大学の方で分けたわけではなく、国の方で分けている。おそらく、保健分野は数も多く結構な広がりを持っているためだと思う。

4 平成25年度資金運用実績について

平成25年度の資金運用実績について報告があった。

5 平成25事業年度の決算について

平成25事業年度の決算について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見等があった。

- ・ 授業料収益が固定資産の取得にまわった分は圧縮して計上されるというルールなのか。非常に分かりにくい。

授業料収入を充てて償却資産を購入した場合は、その分はP/L（損益計算書）の授業料収益から除外されB/S（貸借対照表）の資産に計上し、減価償却に合わせ資産見返運営費交付金等戻入により収益化するというルールになっている。分かりにくいですが、企業会計等とは異なるルールとなっており、キャッシュ・フロー計算書の方で生の収入の状況は分かるようになっている。

6 平成27年度概算要求事項について

第2期中期目標期間中における今後の国立大学関係予算の取扱いに係る文部科学省からの通知内容及び平成27年度概算要求の案について説明があり、審議の結果、概算要求事項について議決した。

なお、以下のような意見等があった。

- ・機能強化とは何をいうのか。概算要求の内容は機能強化ではなくプロジェクトが主体となっているが、この中に機能強化に該当するものはあるのか。プロジェクトは減らさなければいけないということだが、プロジェクトも大事なことはたくさんあると思う。

本学の機能強化分としては、基幹教育院の充実を主な目的として外国人教員等を増やすために昨年度から要求をして既の実施している。具体的にはこの資料の9ページにあるように、機能強化分は6年程度で全部自己財源に移行しなければならない。最終的に自己財源でまかなえる保証がないとなかなか要求できない。プロジェクト分は個別内容につくもので、これまでは安定的に予算がついてきたが、かなり減らされ、制約がついて構造的な変革が行われている。

- ・全体の仕組みとしては、運営費交付金がどんどん下がっていく中で、自分の中で優先的な資源配分を上手くやる場合は減らし方が小さくなるというか、時間軸を上手く使っていけばプラスアルファになるというインセンティブではないのか。

全体としては減っていくので、何もしなかったらどんどん減っていく。全体としては減らすか、政策的に少し増やすところがあるので、そこがインセンティブであり頑張ってもらってそれを取っていかなければならない。

今回の通知にある機能強化分というのは、国が、国立大学との意見交換を通じて、国立大学改革プランといった国の政策的なものに寄与するものについてある種トップダウン的に措置をするということになっている。改革の努力をしているところに対して重点的に付けるという仕組みに変わってきた。従前の大学の個別のプロジェクトについては大幅に抑制されるという状況になった。

- ・伊都キャンパスの移転は計画通り進んでいるが、全体を絞っていることが影響しないだろうかという不安と、いろいろなものを自分で、自己財源を作って努力して進めていかなければならないが、九大自身でどこを増やすか、病院収入など好調であるがそういったところが今後どうなるか、少し気になる。

自己財源ということでは、病院の収入は伸びている。一つは病院に頑張ってもらって、それ以外にもどうするかということも考えていく。私どもは病院の再開発も行い、キャンパス移転という大事業もやっているが、相当な努力をしている。これをきちんと滞りなく済ませることが重要。

7 スーパーグローバル大学創成支援事業の申請について

スーパーグローバル大学創成支援事業の申請内容について説明があった。

8 九州大学 国際教養学部（仮称）について

国際教養学部（仮称）の検討状況について説明があった。

【その他】

1 部局長の退任紹介

7月15日付けで退任する部局長の紹介があった。

2 次回の開催について

次回は平成26年10月23日(木)に、伊都キャンパス開催予定である旨の案内があった。

(以 上)